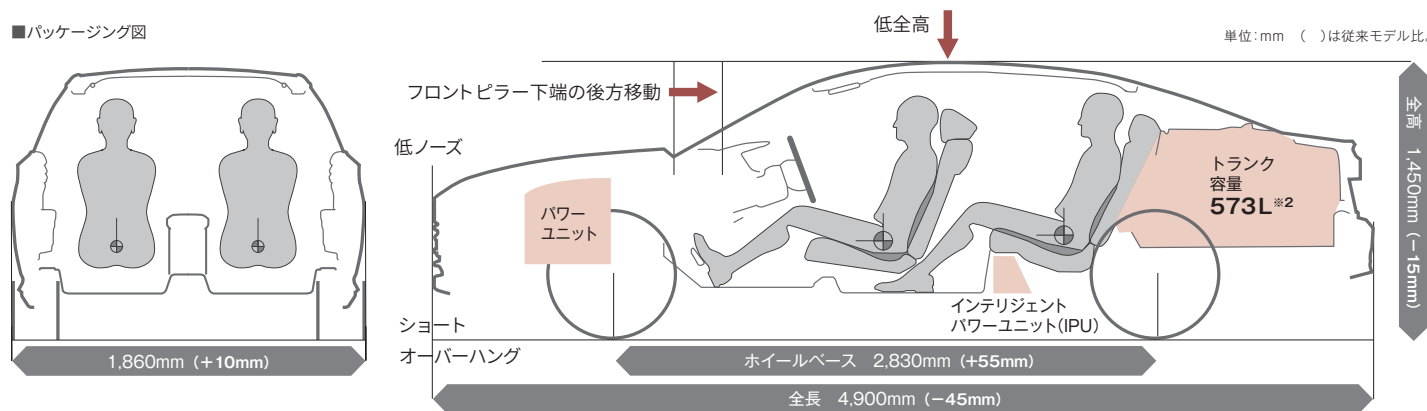


低重心・低慣性プラットフォームのポテンシャルを最大限に生かす、動感パッケージ。

低重心・低慣性の新世代プラットフォームは、ACCORDを「New Age」へと大きく羽ばたかせる可能性に満ちていました。パッケージデザインでは、質の高い走り、かつてないほどの美しいスタイリング、そして、ドライバーとクルマとの一体感をテーマに、数値を超え人間の感性に訴える動感パッケージを追求しました。

ロー＆ワイドの基本骨格にロングホイールベースを与え、タイヤが四隅で車体を支える安定したスタンスを創出。ボディの上下中央付近を張り出させ、上下端を絞り込んだ、いわゆる樽型ボディとすることで、広い室内空間と躍動的なフォルムを両立させています。

■パッケージング図



走りのための低重心プロポーション

従来モデルに対し、全高を15mm下げるとともに全幅を10mm広げロー＆ワイドな基本骨格を完成。全長を45mm短縮しながらも、フロントピラー下端を後方に引くことで、伸びやかなノーズと低く流れるような走りのプロポーションを実現しています。

ドライビングプレジャーを満喫させる人車一体空間

前席ヒップポイントを従来モデルに対し25mm下げ、ヒールポイントは10mmの低減に留めることで、ヒップポイントとヒールポイントの高低差を15mm少なくしました。これにより、スポーティーで疲労感の少ない運転姿勢を実現しています。また、従来に対しフロントシートを片側10mmずつ車両中心に近づけてレイアウトし、ゆとりある肘まわり空間を創出。車両中心寄りのアイポイントは、下端を後方に引きスリム化したフロントピラーとあいまってワイドで爽快な運転視界を提供します。

ハイブリッドセダントップ※1の大容量トランク

インテリジェントパワーユニット (IPU) を従来のリアシート背面から後席下へ移設し、さらに、リアサスペンションを最適設定することで、ハイブリッドセダントップとなる573L※2の大容量トランクを実現。9.5インチタイプのゴルフバッグを4個積載できます。開口部は、従来モデルに対し幅を40mm拡大し、地上高を25mm低くすることで荷物の出し入れを大幅に容易にしました。トランクスルー機構やアームレストスルー機構も備え、大きく使いやすいトランクとしています。

■大容量トランクスペース



圧倒的な広さでゲストをもてなす後席空間

ホイールベースの延長によって、後席の足元広さを70mm、膝まわり空間を50mm、従来モデルに対しそれぞれ大幅に拡大。圧倒的な広さで着座姿勢から見直したシート、そして充実した装備で、極上のおもてなしを提供します。

※1 2020年2月現在。Honda調べ。 ※2 VDA方式によるHonda測定値。